

- 新潟米の品質向上と安定生産を目的に県下全域で **土づくり運動** を展開しています。
- 土づくり肥料の施用率拡大に向け、低コスト土づくり肥料の開発、受託施肥支援をおこなうとともに、実証展示圃の設置と土壌分析結果にもとづく効果の見える化に取り組みます。

<新潟県の水田土壌の実態>

- 土壌中の可給態ケイ酸の不足
- 遊離酸化鉄不足ほ場の増加 ⇒
- 腐植等有機物の不足

<対策(土壌診断結果にもとづく土づくり)>

- ◎ **有機物の施用** (堆肥、稲わら・もみ殻すき込み、緑肥など)
- ◎ **深耕** (作土層の拡大)
- ◎ **土づくり資材の施用** (ケイ酸質資材、鉄含有資材など)

新 低コスト水稲用土づくり肥料

ソイル米スター

ニュー米スター



○扱いやすい15 kg 包装 ○施肥量: 2袋以上/10アール

「鉄」が大幅に不足している地域があります。



- 銀メッキ板※を用いた **硫化水素の“見える化”**
 ※秋落ち(収量・品質低下)の原因となる硫化水素の発生が多いほど“黒変”する。
- 硫化水素の発生が多い圃場では、土壌中の「鉄」や「マンガン」が少ないので、土づくり肥料等で成分補給が必要。

※近年、水稻の品質・収量に影響を与える要因(気象環境の変化や土壌条件など)が多様化・複雑化しています。品質・収量を適正に維持するためには、土壌診断により土壌の状態を把握し、土づくりによる土壌環境の改善が重要となっています。